

ぴあら（ピア・ラーニング・ルーム）

自立した学習者の育成の場、学生同士（ピア）の学びの場

目的・趣旨 |

ぴあらは、「仲間とともに学ぶ楽しさー『ぴあら』で新しい学びをー」のメッセージとともに、平成 23 年 4 月、衣笠図書館内に設置されました。

ぴあらのコンセプトは「学生同士（ぴあ:Peer）による主体的で創造的な新しい学びのスタイルの創出」です。仲間とともに学ぶことで得るひらめきや発見を大切にし、その経験の積み重ねを可能とする学習空間です。

開設にあたっては、学生同士の主体的な学びを促進するために、幾つかの工夫を施しました。使い勝手の良さや居心地の良い空間を什器や色調で演出し、利用者の足を運びやすくしています。スタッフは全て学生を配置し、ぴあらは大学のみが管理運営するのではなく、学生自身の手によって自立的に運営される学習空間であることの意識を高めました。

活発で自由な活動を展開できるように、「『ぴあら』でできること」のベースとなる考え方をボードやホームページで示し積極的な利用につなげています。



利用風景

実施内容 |

ぴあらは主に 3 つのエリアから構成され、利用者は目的に応じて自立的に使い分けができるよう設計されています。

【グループワークエリア】

グループ学習実践の場。様々な機材を用いた創造的な学びを生み出す仕掛けを施しています。

【プレゼンテーションルーム】

聞き手の反応を見ながらプレゼンテーション演習が可能。ガラスで仕切られた部屋は学びの可視化に役立っています。

【パソコンエリア】

比較的短時間で済む情報検索やメールチェックなどを行うエリア。

人的支援は次の 2 つを行っています（平成 25 年度現在）。

【IT・情報検索サポート】

学生スタッフによる IT 機器の利用支援や、学術情報検索支援。

【日本語ライティングサポート】

初年次教育科目と連動したライティング支援。



プレゼンテーションルーム

実施成果 |

利用者数は前年度比約 1.2 倍で推移し、連日多くの学生でにぎわっており、学部学生のプレゼンテーション練習、授業やゼミでの発表準備、教育実習の事前演習など多様な利用が見られます。

学生の評価として次のようなものが寄せられています。今後も学生の自発的な学びを支え発展させる場として、ぴあらの充実を図りたいと考えています。

- ・ 複数の学部にまたがったグループワークを気軽に行える。困ったことはすぐ近くのスタッフに相談できる。
- ・ 隣のグループでホワイトボードと PC を使って授業のような形態で学習している人たちを目にして、刺激を受けた。
- ・ 「ネットで調べる」「本を探す」「討議をする」という場ができた。図書館内にあることで「ネット+本」という調べ物の形態が定着した。

今後の展開・課題 |

平成 25 年度現在、ぴあらは学内 3 ヶ所で展開しています（平成 23 年 4 月～：衣笠キャンパス衣笠図書館、平成 24 年 4 月～：びわこ・くさつキャンパス（BKC）メディアセンター、メディアライブラリー）。既存の図書館内に設置したため、利用希望者数に対して施設が狭隘であり、より多くの利用者に活用してもらうことを目的とした施設の改善が望まれています。

BKC メディアセンターぴあらでは、学内他施設で行っていた学習支援をぴあら内で展開することにより、利用者の利便性が高まりました。衣笠図書館、BKC メディアライブラリーそれぞれのぴあらでは、授業と連携した学習支援の取り組みも始まっています。ぴあら全体の今後の課題としては、学生のニーズを把握した上での学習支援展開の検討が挙げられます。



ぴあら鳥瞰図

参考文献・URL |

ぴあら

<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/mr/lib/plr/>

連絡先 |

立命館大学図書館サービス課

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

TEL: 075-465-8246